

2021年8月13日
 一般社団法人日本鉄鋼連盟
 標準化センター事務局

2021年度 第1回鋼材規格三者委員会 議事録

1. 日時： 2021年7月28日（水）13:30～15:15

2. 場所： Web会議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学教授）

（副委員長）緒方（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）

（委員）伊藤（ISO TC156国内対応委員会委員長）、岩田（建築研究所）、小野（日本分析化学会）、
 加藤（日本金属継手協会）、木村（大同特殊鋼）、栗原（日本伸銅協会）、
 桑原（東京農工大学）、種物谷（高圧ガス保安協会）、下津佐（神戸製鋼所）、
 高木（三菱マテリアル）、堤（日本規格協会）、戸上（日本アルミニウム協会）、
 中澤（JFEスチール）、野呂（日産アーク）、林（元国立研究開発法人理化学研究所）、
 富士原^代藤井（日本試験機工業会）、松本（日本海事協会）、松本（日本製鉄）、
 山口（九州工業大学）

（委員長・副委員長・委員計22名）

（関係者）大竹（経済産業省）、伊藤（経済産業省）

（関係者計2名）

（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、阿部、井田、越川、坂橋、楠野、玉田、山本（日本鉄鋼連盟）

（事務局計8名）

4. 議題と配布資料

1) 報告

資料0 2020年度 第2回鋼材規格三者委員会議事録

資料1 第25回～第28回金属・無機材料技術専門委員会

2) 制定 審議

資料2 及びコメント回答 JIS G 1216-1 鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第1部：ジメチルグリオキシムニッケル重量法

資料3 及びコメント回答 JIS G 1216-2 鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第2部：ジメチルグリオキシム沈殿分離エチレンジアミン四酢酸二水素二ナトリウム・亜鉛逆滴定法

資料4 及びコメント回答 JIS G 1216-3 鉄及び鋼－ニッケル定量方法－第3部：ジメチルグリオキシム吸光光度法

3) 改正 審議

資料5 及びコメント回答 JIS A 5526 H形鋼ぐい

- | | | |
|----------------|------------|---------------------------------|
| 資料 6 及びコメント回答 | JIS G 3114 | 溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 |
| 資料 7 及びコメント回答 | JIS G 3136 | 建築構造用圧延鋼材 |
| 資料 8 及びコメント回答 | JIS G 3115 | 圧力容器用鋼板 |
| 資料 9 及びコメント回答 | JIS G 3124 | 中・常温圧力容器用高強度鋼鋼板 |
| 資料 10 及びコメント回答 | JIS G 3303 | ぶりき及びぶりき原板 |
| 資料 11 及びコメント回答 | JIS G 3315 | ティンフリースチール |
| 資料 12 及びコメント回答 | JIS G 3191 | 熱間圧延棒鋼及びバーインコイルの形状、寸法、質量及びその許容差 |
| 資料 13 及びコメント回答 | JIS G 4107 | 高温用合金鋼ボルト材 |
| 資料 14 及びコメント回答 | JIS G 4108 | 特殊用途合金鋼ボルト用棒鋼 |
| 資料 15 及びコメント回答 | JIS G 3429 | 高圧ガス容器用継目無鋼管 |
| 資料 16 及びコメント回答 | JIS G 3472 | 自動車構造用電気抵抗溶接炭素鋼鋼管 |
| 資料 17 及びコメント回答 | JIS G 3473 | シリンダチューブ用炭素鋼鋼管 |
- 4) 廃止 審議
- | | | |
|-------|------------|---------------|
| 資料 18 | JIS G 1216 | 鉄及び鋼－ニッケル定量方法 |
|-------|------------|---------------|
- 5) 事前調査表 審議
- | | | |
|-------|--------------|------------------------------------|
| 資料 19 | JIS G 3477-3 | ポリエチレン被覆鋼管－第 3 部：外面ポリエチレン紛体被覆鋼管の改正 |
|-------|--------------|------------------------------------|

5. 議事内容及び結果

交代委員の紹介と自己紹介、榎委員長のご挨拶の後、以下の議事が進められた。

5.1 幹事から前回議事録が報告された。

前回議事録は、会議後に既に承認されており、特にコメントはなかった。

5.2 寺澤事務局長から、第 24 回の金属・無機材料技術専門委員会について報告された。

5.4 審議案件の制定案 3 件、改正案 13 件、廃止案 1 件について鉄鋼連盟の事務局より内容が説明され、質疑応答があった。審議内容及び原案修正点は、規格ごとのコメントテンプレートに記載された。

いずれも審議結果を原案に反映することとして承認された。

5.5 その他

幹事から 2021 年度第 2 回の鋼材規格三者委員会を 12 月 22 日（水）午後で開催する予定であることが説明された（会議形態未定）。

以上

2021年度第2回鋼材規格三者委員会（書面審議）議事録

1. 日時： 2021年9月8日（水）～9月27日（月）

2. 場所： 書面審議

3. 出席者：（敬称略）

（委員長）榎 委員長（東京大学）

（副委員長）緒形 副委員長（物質・材料研究機構）、田中 副委員長（東京理科大学名誉教授）

藤原 副委員長（EMF応用計測）

（委員）相川（日本水道協会）、伊藤（ISO/TC 156国内対応委員会委員長）、岩田（建築研究所）、
小野（日本分析化学会）、小野田（日鉄SGワイヤ）、加藤（日本金属継手協会）、
木村（大同特殊鋼）、熊井（日本検査キューエイ）、栗原（日本伸鋼協会）、
桑原（東京農工大学）、近藤（日本自動車工業会）、種物谷（高圧ガス保安協会）、
下津佐（神戸製鋼所）、高木（三菱マテリアル）、竹内（東京工業大学）、
田之上（IHI）、堤（日本規格協会）、戸上（日本アルミニウム協会）、富山（土木研究所）、
中澤（JFE スチール）、野呂（日産アーク）、林（元理化学研究所）、
富士原（日本試験機工業会）、松本（和）（日本海事協会）、松本（聡）（日本製鉄）、
山口（九州工業大学）

（委員長・副委員長・委員計30名）

（関係者）伊藤・大竹（経済産業省）、中田・檜原山口（国土交通省）

（関係者計4名）

（幹事）石川（日本鉄鋼連盟）

（事務局）寺澤、阿部、井田、木村、楠野、玉田、山本、越川（日本鉄鋼連盟）

（事務局計8名）

4. 議題と配布資料

下記の規格改正のためのJIS案の審議。

JIS G 0551（鋼－結晶粒度の顕微鏡試験方法）（資料1-1）

JIS G 1201（鉄及び鋼－分析方法通則）（資料1-2）

JIS Z 2246（ショア硬さ試験－試験方法）（資料1-3）

JIS Z 2247（エリクセン試験方法）（資料1-4）

JIS Z 2248（金属材料曲げ試験方法）（資料1-5）

5. 決議年月日

2021年9月28日（火）

6. 結果

委員30名による書面審議の結果、いずれの審議案件も下記の表に示すように賛成票30、反対票0で承認された。

審議事項	資料番号	賛成	反対	結果
JIS G 0551 (鋼－結晶粒度の顕微鏡試験方法)	1-1	30	0	承認
JIS G 1201 (鉄及び鋼－分析方法通則)	1-2	30	0	承認
JIS Z 2246 (ショア硬さ試験－試験方法)	1-3	30	0	承認
JIS Z 2247 (エリクセン試験方法)	1-4	30	0	承認
JIS Z 2248 (金属材料曲げ試験方法)	1-5	30	0	承認

各案件に対するコメントと対応は、別添のとおり。

以上